

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年 5月23日記入

基本目標	I ▼ 学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	12310
政策名 (章)	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます	評価担当課	保健福祉部 ▼
基本施策名 (節名)	第3節 市民医療の充実		地域医療課
施策名	地域医療体制の充実	課長名	近藤 敏男

1 施策の概要・目的

高度化・多様化する市民の医療ニーズに応えるため、医療機関相互の連携を図るとともに、身近な地域で適切な医療が受けられるような体制づくりを行う。合わせて、保健医療を支える人材確保の観点から、看護職員の確保対策についても支援を行う。また、医療血液の需要に対応するため、献血事業を推進する。

2 施策の現状

適切な医療サービスに対応していくため、医療供給体制の整備促進を図っている。また、看護職員の離職防止対策、就学資金の貸付事業等養成確保について対応を行っている。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

458,686 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

745 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **54** 番目です。

(4) 施策に要している人員

9.13 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	市内病床充足率 市内病床数/基準病床数×100	市内医療機関の供給体制で成果を表す	現状	0 50 100	100%	目標年度
			目標		100%	
指標2	市内医療機関への就職率 市内就職者数/看護学校卒業者数×100	市内就職数で成果を表す	現状	0 50 100	70%	目標年度
			目標		70%	19
指標3	健康さがみはら配布率 発行部数/世帯数×100	発行部数により世帯への啓発状況を成果として表す	現状	0 50 100	90%	目標年度
			目標		90%	18

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

看護職員の育成・確保は、医療施設はもとより、福祉施設においても需要があり、市民に適切な保健医療を提供する体制を継続する上で、今後とも必要と考える。また、市民への健康づくりに対する啓発及び情報提供は疾病予防対策にも効果があると予想されるため、必要性は充分ある。

6 有効性…期待される効果があがっているか

看護職員の育成・確保対策事業は、看護学校卒業生の約60%が市内の医療機関に就職する等、要員確保と定着率向上に一定の効果を上げている。また、健康さがみはらは各戸配布を行っているものであり、健康に対する啓発と予防に関する情報提供を広く市民に行っている。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

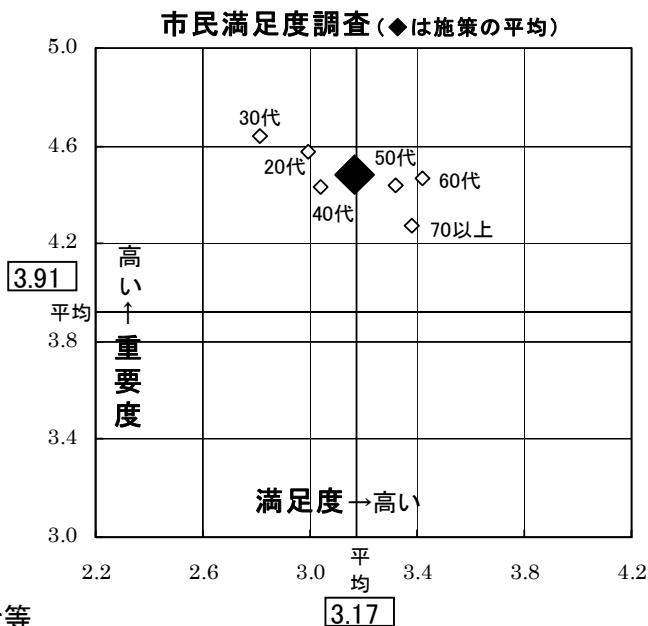
事業の性格上、費用対効果をはかることは難しいが、市民サービスの観点から効率性は充分あると考える。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

- ◆この施策の満足度は、3.166で、調査した51施策の中で25番目です。
- ◆この施策の重要度は、4.481で、調査した51施策の中で1番目です。
- ◆この施策の改善要望度は、0.930で、調査した51施策の中で5番目です。

◇年齢別にみると、満足度では50歳代以上で高く、重要度では20歳代及び30歳代で高くなっています。比較的若い年代で改善要望が高い傾向がみられます。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)



9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

看護職員の市内就職率の更なる向上及び健康さがみはらについては、各種医療関係団体と連携し、「健康」に関する正確・安全かつ総合的な情報の提供が望まれる。

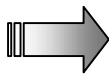
10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向

拡充する

現状維持する

見直し



説明及び具体的内容

本市として看護職員の人材育成は医療機関・福祉施設等今後とも需要が拡大されることが予想され、引き続き確保対策は必須と考える。また、保健衛生思想啓発普及事業についても、健康増進、発病予防など健康づくりについての情報提供の一環であり、積極的に事業実施を図る必要がある。

11 2次評価

説明

A

B

C

市民がその状況に対応した適切な医療を受けられる体制づくりを関係機関との連携により構築するとともに市と医療機関との役割について検討すること。

12 外部意見

説明

市民満足度調査における重要度及び改善要望度が高いことから、関係機関との適正な役割分担のもと身近な地域で適切な医療が受けられるような体制づくりなど、施策を充実すべきである。

